

フランスでのユーザ会

フランスの dSPACE ユーザが一堂に

dSPACE フランス 5 周年

dSPACE 製品を使用したお客様の革新的な事例発表

ホールで出席者に挨拶する
Dr. Salah Aksas

2006 年 10 月 12 日、「Les Rencontres Electronique et Automatique 2006」(電子制御と自動化テクノロジーの集い 2006) のテーマで、フランスでのユーザ会が開催されました。100 人をを超える参加者が、パリ、Porte de Sèvres の Sofitel ホテルに集い、各自のプロジェクトを発表しました。この日は、dSPACE がフランスに事業所を開設してから 5 周年でもありました。

自動車および航空産業や大学からの参加者

40 カ国からの 100 人をを超える参加者が、この日の電子制御システム開発の情報交換および会議に参加するために集まりました。

フランスの自動車および航空産業の大企業、および組込み電子制御システムの研究開発を行っている大学の代表者が参加しました。会議には、Renault 社、PSA Peugeot Citroën 社、VALEO 社、VOLVO 3P 社、EADS ASTRIUM 社、Thalès 社、Siemens VDO Automotive 社、Delphi Diesel Systems 社、Hispano-Suiza 社、SUPELEC 社、Polytech' Nantes 社、Liebherr Aerospace 社、ESTACA 社、Messier-Dowty 社などのユーザが参加しました。



Dr. Herbert Hanselmann は、dSPACE の開発作業と現在の製品ポートフォリオを概説しました。



開会の辞と議題

dSPACE Sarl の Director, Dr. Salah Aksas が参加者を歓迎し、フランスでの 5 年間の dSPACE の活動の概要を述べました。dSPACE GmbH 社長、Dr. Herbert Hanselmann は、現在の製



▲ 100 人をを超える参加者が発表に出席しました。

品ポートフォリオについて説明し、dSPACE 製品を使用して開発された重要な適用事例を紹介しました。Hanselmann 社長は、OEM メーカーとサプライヤが、HIL (Hardware-in-the-Loop) シミュレーションの導入効果が非常に高いため、重点的な投資を行っていることを指摘しました。たとえば、Audi 社は、わずか数年で保証経費を 2 分の 1 以下に削減しました。この改善の大部分は厳格な HIL テストによる

「問題が発生した時、dSPACE にはいつも助けられています。本当に頼りになります」

dSPACE システムの使用経験があるお客様

ものです。複数の CAN、LIN および FlexRay ネットワークを装備した最新の自動車の複雑さに対応するために、ますます、車両全体のシミュレーションに対応した大型のシミュレータが使用されるようになっていきます。ダイムラー・クライスラー社は、このようなシステムを集中的に使用しており、最近の製品開発では素晴らしいソフトウェア品質を達成しました。

発表の概要

「エンジン制御のフルバースプロトタイプング」: PSA Peugeot Citroën 社の Natalia Lestrée 氏は、ターンキーの RCP ソ



◀ スロットレーシングのコースでは、お客様がレースに参加して最高時速 60 km にもなるレーシングカーの操縦にチャレンジしました。

ソリューションを使用して、実際のエンジンテストベンチで、新しく革新的なエンジン制御コンセプトの妥当性を確認するプロジェクトを紹介しました。

「TargetLink を使用した総合的なアプリケーションの開発」：Valeo Thermique Habitacle 社の Denis Eperonnier 氏は、TargetLink を使用して、カーエアコン制御用のすべ

「TargetLink コードは、他社製の量産コード生成ツールで生成したコードに比べ、モデルによっては 30% ~ 40% 優れた効率を発揮します」

TargetLink に関する発表でのユーザの発言

での固定小数点アプリケーションコードを生成しました。「dSPACE システムを使用した StARS オルタネータ/スタータ開発の V サイクル」：Valeo Systèmes Electriques 社の Sébastien Roue 氏は、AutomationDesk に基づく、十分に考慮されたテスト概念を導入しました。開発チームは、dSPACE ソリューションが、新しい要件を満たすために簡単に拡張できる事実を高く評価しました。「Volvo 3P ライトデューティ車両の HIL ベンチ」：Volvo 3P 社の

「dSPACE のテスト自動化ソリューションは、他社の製品よりも優れています」

dSPACE ツールに関するユーザのコメント

Nicolas Bellot 氏と Sherpa Engineering 社の Damien Brunel 氏は、dSPACE シミュレータを使用してエンジン ECU と ABS ECU を同時にテストする方法について説明しました。この方法により、一方の ECU 側のセンサに欠陥を発生させたときの他方の ECU の動作をチェックすることができました。

「dSPACE 適合システム / CalDesk を使ったトランスミッション適合の自動化」：Segula 社の Laurent Chapus 氏は、CalDesk が、トランスミッション用量産 ECU の適合プロジェクトのすべての要件をどのように満たしているかを説明しました。同社は、現在、OEM メーカーとの新しい適合プロジェクトに CalDesk を使用しています。この記事で取り上げた引用には、プレゼンテーションでの重要な発言の一部が含まれています。dSPACE の製品マネージャと dSPACE France チームのメンバーは、新製品の機能を紹介し、FlexRay および AUTOSAR 分野の傾向を説明しました。

夜の部では、楽しい催しがあり、多くの人々との歓談で一日を締めくくることができました。

感謝の言葉にかえて

dSPACE チーム全員、Rencontres Electronique et Automatique 2006 に参加してくださった皆様に感謝いたします。参加者の皆様がツールとソリューションに関する知識を深め、組込みアプリケーション開発のための新しいアイデアを得る機会となったのであれば幸いです。特に、適用事例の発表に同意していただいた方々には感謝の意を表したいと思います。この催しが成功し、充実したものとなったのは皆様の発表のおかげです。皆様の各プロジェクトでご協力できることを光栄に思います。



▲ 休憩中の体験デモ - 誰でも製品を直接見て触れて試してみることができました。

発表の詳細については、
www.dspace.fr/goto?REA06
をご覧ください。